

令和2年度
優秀賞

株式会社新日本科学

会社概要

株式会社新日本科学は、1957年創業。従業員は1000名、グループ全体で2150名。主な事業は医薬品開発受託研究事業、トランスレーショナルリサーチ事業、メディポリス事業である。鹿児島県内においては、鹿児島市にて医薬品開発を行う安全性研究所、指宿市にて「天降る丘」等のホテルを経営しており、その事業は多岐にわたる。SDGsの取組の一環として、地熱発電事業による環境保全に注力しており、併せて再生エネルギーを利用して水素を生成するGreen Hydrogen事業にも参入すべく準備を進めている。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率 12.2%達成（平成28年度比）

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度（平成28年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成29年度～平成31年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全社的な省エネの実施

冷暖房機を適切な温度に設定し、クールビズ・ウォームビズなどの省エネの取組について、全社員に周知徹底し、実行している。また、テレワーク勤務、オンライン会議など環境を整え、全社を挙げて省エネに取り組んでいる。

独自の省エネ

地熱バイナリー発電を稼働しており、CO2削減目標を設定し、排出量の削減に寄与している。また、温泉を利用することで、給湯用ボイラーの使用燃料削減を行っている。

さらに、温泉の余剰熱の使用によって、空調電力の削減、ボイラーの燃料削減を実現するだけでなく、きのこの栽培、野菜を栽培するための温室の環境整備も行い、余剰熱を使用することで、関連する企業の事業活動の省エネにもつなげている。

その他設備等の省エネ

指宿においては、共用部分、客室をLED化、鹿児島本店においても共用部分をLED化し、階段、通路部分の電気は人感センサーを設置し、節電に努めている。

さらに、エネルギー効率の低い空調システムを省エネ型空調システムに更新を行ったことで、エネルギー使用量の削減を実現した。



【事務所内 LED 照明】



【第3泉源】



【地熱余剰蒸気を活用したキノコ栽培ハウス】